



かけはし

宇部市立楠中学校だより 第5号

令和7年(2025年) 7月18日(金)

<http://www.ube-ygc.ed.jp/ksj/>



すてきな大人になるために～「一日一止」～

1学期が終了しました。楠中生のみなさんにとって、どんな1学期であったでしょうか。充実した71日間となったでしょうか。今年度から楠中学校の学校教育目標に「すてきな大人へ」というフレーズを加えました。「すてきな大人」である保護者や地域のみなさまに、「すてきな大人」へ一歩近づいた楠中生に終業式で話した「目をなくしたカバ」の話を紹介したいと思います。

「目をなくしたカバ」

川を渡っているときに自分の片目をなくしたカバがいた。カバは必死になって目を探した。水中を動きまわり探せば探すほど川の水は濁りを増し、見つけることのできない状況になった。とうとう疲れ果て、カバは座り込んでしまった。すると、川は静寂を取り戻し、カバはなくした自分の目を見つけることができた。

一日一回は静寂な時間を、心静かに、心の中で舞い上がった泥を沈めてみよう。

「一日一止」、一日一回は立ち止まりなさいという意味です。一日一回くらいは自分の歩き方を見つめ直す。そうすることで、「正しい歩み」をつくることができるのです。「一止」、よく見てみると「止」の上に「一」をのせると「正」という字になります。

一日一回止まって、自分を省みよう。そのことが我々を「すてきな大人」へと導きます。

楠中生、明日から夏休みに入ります。慌ただしく過ぎ去った71日間の「1学期の自分の生活」をゆっくり見つめ直してみましょう。そして、37日間ある夏季休業中、「一日一止」の時間をつくってみてください。私自身も1学期の生活を「謙虚」に振り返り、「課題」を確認し、2学期に向けて「準備」したいと思いますし、「一日一止」の時間をつくってこうと考えています。「すてきな大人」に向けて、チャレンジしていきましょう。やればできる!君たちならできる!

「心」にたっぷり汗をかく夏休みに!

今年も暑い夏休みになりそうです。楠中生に元気で過ごしてほしいと願っています。ところで、みなさんにとって、今までの「夏休みの思い出」とはどんなものでしょうか。

私の思い出は中学生時代の「部活動等の練習」です。野球部の練習が午前中で、午後(夕方)から臨時の陸上部の練習をしていました。夕方とはいえ、これが暑い中、走るので本当にきつく、逃げ出したい心境になっていました。休んだこともあったように記憶しています。

しかし、3年生の時は、野球部では副キャプテン、臨時の陸上部では学校の代表としての自覚が芽生え、夏休みの練習を休むことなくやり切ることができました。野球部では残念ながらよい結果を出すことはできませんでしたが、陸上の方では、個人競技・リレー・団体総合で市内第1位となり、やり切る

ことができたということで、「夏休みのすてきな思い出」となっています。

夏休みは猛烈な暑さとの戦いです。それは、「自分の心の中の弱さ、ずるさ、甘さとの戦い」でもあります。楠中生には、この夏休みに「これだけは何が何でも絶対にやり通す」というものをしっかりもって過ごしてほしいと思います。ひたむきに何かに打ち込んで心にもたっぷり汗をかく夏休みになることを願っています。体と心が成長する「すてきな夏休み」に、「すてきな夏休み」を経験できれば、「すてきな大人」へまた一歩近づくはずです。やればできる!君たちならできる!

夏休みに期待すること～保護者のみなさまへ～

夏休みに入り、楠中生は保護者のみなさまのもとでの生活が中心となります。学校が休みになっても子どもたちの成長には休みがありません。ご家族のみなさんで、どのような生活をしていくのかを話し合い、それに基づいた生活をしていただけたらと思います。

私の考えを少し述べますので、その際に参考にしていただけるとありがたいです。

1:「水難事故、交通事故、その他の不慮の事故ゼロ」の夏休みにするための心得を身に付けさせてほしい

「夏休みの生活心得」を再度熟読し、話し合いの資料として活用してください。特にルールを守ることとは自分の命を守ることに繋がることをおさえてほしいと思います。

2:「子どもたちにできることは、できるだけ子どもたち」にさせてほしい

ちょっとの無駄や不手際を気にしないで家族の一員として役割を分担し、家族のためになることをさせてください。「人間は認められれば、その名に恥じない行動をとるもの。子どもたちは、認められ、信頼されるとき、自分でやる気を起こす」ものです。朝自分で起きる習慣を身に付けるには、夏休みは最もよい時期だと思います。甘えを許さず、自立を促し、ちょっぴり大人扱いをし、できたら褒める。「手を離せ、目を離すな」精神でお願いします。

3:地域活動に積極的に参加させてほしい

子どもたちは、社会のあらゆる場で育てられる存在です。「感動ある体験」を求めて、いろいろな場に参加させてください。地域において、様々な行事があります。「地域の一員」「地域の担い手」であるという自覚をもたせてほしいと思います。

4:「学習は毎日計画的に行う」習慣を身に付けさせてほしい

長い夏休みを利用して、毎日計画的に学習する習慣を身に付けさせてください。特に「復習」に力を入れ、自ら学ぶ力を育てるために「変心ノート」を活用してほしいと思います。3年生は進路の選択・決定が近づいています。進路のことについて、真剣に話し合い、将来の夢や自分の志を実現できるよう、夏休みを有効に活用させてほしいと思います。

5:「戦争」「平和」について考える時間をもってほしい

8月6日は広島に、8月9日は長崎に原爆が投下されました。終戦を迎えたのが8月15日です。夏休みは「戦争」「平和」について考える大切な時間なのではないでしょうか。戦争を知らない世代が多くなってきているからこそ、家庭で考える時間をもってほしいと強く思います

夏休みが親子のふれあいが深まり、子どもたちの主体性が育つ、親子共々意義のある「すてきな夏休み」になりますよう期待しています。体も心も一段と成長して2学期が迎えられるように!!